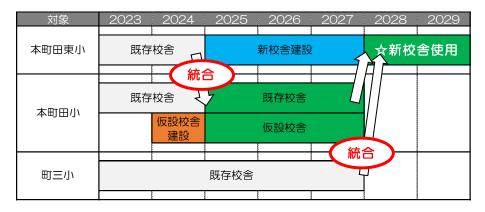
本町田地区の学校統合に伴う避難施設機能について

学校が担っている避難施設機能は、学校跡地をはじめ、統合新設校や周辺施設等も含めて、その地域にとって最適な配置を検討し、引き継いでいきます。



1 工事期間中(2025年から2027年)の本町田東小学校の避難施設機能について

(1) 近隣の避難施設に分散

防災課と自治会等で想定避難先を決め、既にその想定避難先への避難を決めている自治会等 との間で調整の場を設けます。

近隣の避難施設:藤の台小、薬師中、本町田小、金井小、町田第三小(地震時のみ)

(2) 避難場所の拡充の検討

避難施設になっている学校の空き教室の開放、現在避難施設に指定されていない施設(民間施設も含む)の活用、避難広場にテントを張れるようにするなどの拡充を検討します。

2 2028 年以降の町田第三小学校・本町田小学校の避難施設機能について

(1) 近隣の避難施設に分散

防災課と自治会等で想定避難先を決め、既にその想定避難先への避難を決めている自治会等 との間で調整の場を設けます。

近隣の避難施設:統合新設校(現本町田東小の位置)、町田第三中、忠生第三小、サン町田旭体育館(風水害時のみ)、木曽山崎コミュニティセンター(風水害時のみ)

(2) 避難場所の拡充の検討

避難施設になっている学校の空き教室の開放、現在避難施設に指定されていない施設(民間施設も含む)の活用、避難広場にテントを張れるようにするなどの拡充を検討します。

(3) 町田第三小学校・本町田小学校跡地における避難施設機能

町田第三小学校・本町田小学校跡地の活用は、避難施設機能を引き継ぐことも含めて検討していきます。

跡地活用検討スケジュール

【跡地活用の方向性検討】 市民アンケート、地域との意見交換など		【活用の大まかな 方向性決定】	【校舎解体・跡地活用の詳細 検討 (・決定)】		校舎解体・跡地活用	
(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(2026年度)	(2027年度)	(2028年度以降)
跡地6年前	跡地5年前	跡地4年前	跡地3年前	跡地2年前	跡地1年前	

3 地域防災計画について

東京都被害想定が 10 年ぶりに改定されたことを踏まえ、市内各地区における避難者数を改めて推計し、2023 年度に町田市の地域防災計画を改定する予定です。なお、建物の耐震化等が進み、避難者の数は約 40%減少が見込まれています。